

キッズサポートセンター千兵衛'sユニバ 支援プログラム

作成日:R7年6月1日

法人理念	その人が願う地域の暮らしを永続的なものにする。
支援方針	私たちキッズサポートセンター千兵衛'sユニバは、年齢や発達段階に合わせた専門的な支援を基に、集団で過ごすことを通して、同世代や年齢が違う子との関わりから人間関係の構築や自己肯定感が育つ場所にする。
営業時間	平日:10:30~19:30 、 休日:8:30~17:30
サービス提供時間	平日:13:30~17:30 、 休日:9:30~15:30
送迎実施の有無	実施あり

プログラム	支援内容(5領域)
はじまりの会	挨拶や返事の習慣化や、今日やる活動内容を知る目的で行う。活動と遊びの切り替えにもなり、千兵衛でメリハリを持って生活していく為に行う。着席して話を聴いたり、会の進行をしたりする事で、基本的な生活習慣や社会性の獲得にもつなげる。(健康・生活、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
スポーツ	姿勢や運動動作、保有感覚の基本的なスキル向上の為に、遊びを取り入れながら行う。周りの友達と一緒に行事で、他者を意識したり、自分の体や道具をコントロールしたりする方法を、楽しみながら身に着けていく。ルールや勝敗がある事なども知りながら、身体を動かす活動の中で様々な体験を行っていく。(運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)
生活	生活に役立つ身の回りの事を知り、できる事を増やし、ソーシャルスキルの獲得に繋がっていくような活動とする。季節の行事を楽しんだり、交通ルールや安全に気をつけて外出をしたりするなど、子ども達が豊かで健全な生活を送るための様々な体験を行う。(健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
創作	粘土や絵の具などの様々な素材に親しみ、色や感触を楽しみながら、集団・個別での創作を行う。一緒に作りたいイメージや使いたい材料を決めたり、道具を貸し借りしたり、コミュニケーションを取りながら、物を作る楽しさを味わう活動とする。(認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
クッキング	様々な材料に親しみ、簡単な調理を体験しながら、触覚・味覚を使って、作る事・食べる事を楽しむ活動とする。工程表を見て作ったり、実物で手本を見せながら支援者と調理をしたりして、食への興味関心やできる事の幅を広げていく。(健康・生活、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
トライ	将来働く事に向けて、基礎的な作業スキルや椅子に座って集中する経験をしていく為に、簡単な製品づくりを行う活動とする。集中力や作業能力にはバラつきがあるため、それぞれに合わせた工程を分担して行っていく。様々な体験をする中で、得意な作業を見つけたり、できる事の幅を広げていく事を目的とする。また、作った製品は実際に11月に行う千兵衛マルシェにて保護者や地域の方に販売を行う。自分たちが作った物が売れる経験を通して、働く事の意味や喜びを少しでも感じられるように支援を行う。(健康・生活、認知・行動、人間関係・社会性)
音楽	隔月で月2回(火・木)講師を招いてダンスを行ったり、支援者と一緒に楽器作りや歌・演奏を楽しんだりしていく。音楽を通して、自由に体を動かしたり、音を奏でたりする中で、豊かな感性を養うことをねらいとする。また、講師という第三者と接する事で、子ども達の人間関係を広げたり、コミュニケーションの向上にも繋げていく。(認知・行動、運動・感覚、言語・コミュニケーション)

家族支援

子どもの発達状況や特性に合わせた相談援助や、親御様の困り事への相談支援を行っていく。具体的には、ニーズに応じて、月1回程度の家族支援の為の面談を行ったり、送迎時や電話連絡等で少しうっくりとお話をさせていただき、日頃の悩みや学校・家庭・デイでの様子の相談にも応じたりもしていく。親御様との接点が多い分、何気ない会話から、子どもに関しての気づきや、支援でのつまずきなどを察し、デイや家庭での必要なサポートに繋げられるようにしていく。将来や就労に関しての不安も多く聞かれるので、交流会や勉強会等の情報交換の場を設けたり、支援者や先輩ママとのお話しを行ったりする事で、様々な面から親御様・お子様の安心できる生活に繋げていく。

移行支援

将来のライフステージが変わっていく事への準備・練習ができるように、小1~高3まで段階に応じた支援を行う。日々の日課の中で、遊びと活動の切り替えを学び、メリハリを持って行動したり、片付けをしたりと、小さいうちから「自分の事は自分で」という意識を少しづつ持てるようにしていく。また、個別から集団支援への移行なども経験して、社会に出た時に周囲と一緒に動く事もできるように支援していく。毎回、自立課題や活動の中で、作業的な事や物作り等も経験し、「できた」事を評価し、もらったメダルとおやつを交換する事で、将来働く事への模擬練習としていく。また、マルシェに向けての製品づくりも作業練習として行い、実際に製品を作ったり販売したりする事で、就労に向けた練習を行っていく。高等部の利用児には、ニーズに応じて日中活動の施設での体験実習も行い、より実践的な移行支援の機会の提供も行う。

地域支援・地域連携

年に1回程度、地域の方を招いたマルシェでの販売を行い、子ども達が作った製品を実際に販売したり、作品やダンスの成果など活動を通した頑張りを発表したりして、地域の方にも子ども達の事を知っていただけるような機会をもつ。どういう子が千兵衛に通っているのかを知ってもらい、地域の方が安心できることで、お互いを気にかけ合い、最終的には助け合えるような関係性を目指していく。また、地域の方を講師として招いたワークショップやイベント等も開催し、地域の方には得意を活かせる場所を、子ども達には地域の大人と触れ合える機会を提供する。小さなところから少しづつ関わりや理解の輪を広げていく。

学校や地域の事業所、児童発達支援事業所等との情報交換や連携にも努め、福祉サービスもそれ以外も含めた全体で子ども達を支えて行けるような働きかけを行っていく。

職員の質の向上

支援力向上や制度理解、安全・非常時対策等の為に、年に数回の研修の場を設けている。内部の職員や外部講師による、強度行動障害等の特性に応じた支援方法の研修や、実践・振り返りも行っており、子どもの理解に合わせた視覚支援や準備等ができるような働きかけを行っている。子ども達が安全に楽しく、根拠を持った療育を受けられるように、職員の資質向上に努めている。

主な行事等

- 千兵衛マルシェ(11月)
- ダンス発表会(3月)
- 保護者説明会(6月)
- 地域の方を講師としたワークショップ(1月)
- 保護者勉強会(2月)